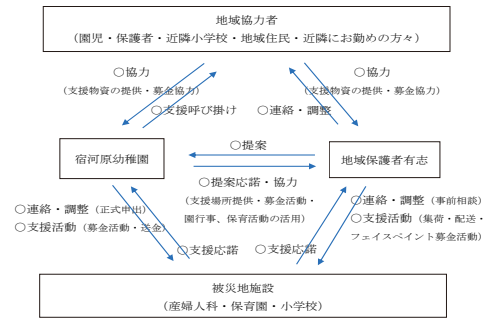


# 地域と幼稚園が一体となり、大人も子供たちも被災地を応援！

|                   |  |                       |                |                     |       |
|-------------------|--|-----------------------|----------------|---------------------|-------|
| 神奈川県川崎市           |  | ● 活動名<br>宿幼くまもと応援地域本部 |                | ● 関係する学校名<br>宿河原幼稚園 |       |
| 開始年度              | 平成 28 年度   | 学級数                   | 10 学級          | 児童・生徒数              | 211 人 |
| 活動内容              | <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援活動 <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 環境整備<br><input type="checkbox"/> 子供の安全確保 <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事等の支援 <input type="checkbox"/> その他 ( ) |                       |                |                     |       |
| 統括的な地域学校協働活動推進員の数 | 配置人数<br>0 人  | 地域学校協働活動推進員の数         | 配置人数<br>3 人    | 連携団体・企業等            |       |
| ボランティアの数          | 登録人数<br>50 人   | 属性                    | 幼稚園保護者有志、地域住民  |                     |       |
| 参考 URL            | <a href="http://www.shukugawara-kg.com/">http://www.shukugawara-kg.com/</a><br><a href="http://www.shukugawara-kg.com/kumamoto/">http://www.shukugawara-kg.com/kumamoto/</a>   |                       |                |                     |       |
| ● 連絡先             | 宿河原幼稚園   |                       | ☎ 044-911-3199 |                     |       |

● 体制図



● 活動の概要・経緯

宿幼くまもと応援地域本部は、宿河原幼稚園が以前からチャリティイベント等で募金活動を行っていたが、熊本地震を機に地域の窓口となり、地域住民や地域小学校保護者と園、園保護者、園児が参画し、150人のサポーターと50人のボランティアと共に互いに協力しながらの積極的な協働活動が行われている。「現地には行けないが何か協力したい」という地域住民や、近隣小学校、近隣に勤める社会人らの思いの受け皿が本部となり、被災地に寄り添う一環となっている。幼稚園児も直接参加することで、大勢の大人の行動を目の当りにして、思いやりの気持ちを育み、更に安全教育にもつながっている。被災地との交流は今後も継続していきたい。

● 活動の特徴・工夫

- 【特徴的な活動内容】
- ・ 地域コーディネーターが幼稚園保護者や近隣小学校、地域住民、被災地施設との連絡、調整を担っている。
  - ・ 園内において「ひとりではないことを伝えたい」との思いから、園児たちが応援旗や応援メッセージカードの作成をすることで、豊かな心の教育に効果が表れている。物資や募金支援活動のみでなく、保育の中に被災地の様子や活動内容を含めた防災・防犯教育を取り入れている。
  - ・ 園でのイベントのほか町会盆踊りや市の緑化センター等市内のチャリティイベント等に、園児や保護者はフェイスペイント募金活動など年10回前後参加しており、地域住民にその活動が広く認知され、趣旨に賛同する住民の輪が広がり円滑な運営に繋がっている。

【実施にあたっての工夫】

幼稚園が被災地支援の地域の活動発信拠点となるべく、園行事に合わせてフェイスペイントイベントなどの参加協力を呼び掛けたり、支援物資の保管場所を提供する一方、地域コーディネーターが園保護者や近隣小学校、地域住民、被災地施設との連絡、調整役を担い、地域幼稚園協働活動を円滑に推進している。送付先は、「大きな団体でなく、支援を真に必要としている方々に直接届けたい」「小さな命の誕生や成長に役立ちたい」という保護者等の思いに沿って、産婦人科、小学校、保育園等としている。地域住民にも協力の場を開放した為、趣旨に賛同する応援の輪が拡大した。

● 事業を実施しての効果・成果

子供たちがイベントに参加し、また協働活動に関わることで、地域への愛着を育て、被災地への応援から他者への思いやりを大きく、園の教育目標である「豊かな心をもった子」の育成に効果がでている。また、保育の中に被災地の様子や活動内容を含めた防災・防犯教育を入れており、教育目標の「安全力を身につけた子」の育成にもつながっている。様々な被災地支援の活動をとおり、子供たちと地域住民とのつながりが密になり、地域における子供たちが健やかに育まれる環境の充実につながっている。支援活動をパイプとし、園児、園保護者や地域住民と近隣小学校等の協力体制が円滑となり、地域の活性化にも寄与している。



フェイスペイント



応援旗作成

ポイント 地域の想いと保護者の想いとを見事にマッチングさせたチャリティ活動をおこなっているところが素晴らしいですね。